

平成28年度

子ども議会 答弁書

1 大きな災害の対策について

ただいまの^{つつみゆきな}堤由命議員のご質問にお答え申し上げます。

大きな災害の対策について、であります。沼田市では、気象情報により災害が起こりそうな場合には、早めに避難情報を発信することとして、皆さんをお守りする体制を整えているところであります。

そして、万が一、大きな災害が起きた場合の防災活動として、「自助」「共助」「公助」という3つの活動があります。まず、「自助」ですが、これはご自分の命はご自分で守る活動になります。次に「共助」は、被災された方々が互いに助け合うといった地域ぐるみの防災活動であります。そして、「公助」は、自衛隊や警察・消防などの、公の機関で救助を行うことになります。

^{つつみ}堤議員のご家庭で行っている「非常時の持ち物」や「家族との避難場所の確認」など^{つねひごろ}常日頃の^{そな}備えは、「自助」の活動になり、非常にすばらしいことでもあります。市においても、避難所の案内や万が一

に備えてを記載した防災マップを作成しておりますので、是非、これらもご確認いただければありがたいと思います。

次の、「共助」につきましては、市では年1回各小学校区ごとに地域防災訓練を実施しており、地域全体での防災意識の向上を^{はか}図っているところであります。

そして、最後の「公助」ですが、当市といたしましても最重要施策の一つとして努めているところであり、皆さんの命を守るために、自衛隊や警察・消防との連携に努めているところであります。

また、避難された方々の「避難所生活」に不快を感じさせないことも必要でありますので、避難所の確保や非常食などの^{びちく}備蓄を行っております。さらに、備蓄品などの不足を生じないように、関係団体や各企業と「災害協定」を結び、非常食や生活用品などを不足なく^{そろ}揃えられるように努めているところであります。

以上申し上げまして、^{つつみゆきな}堤由命議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市に「沼田資料館」を作ってほしい。

ただいまの^{ひらい}平井^{みな}美名議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田についての資料や情報を集めた施設をつくってほしいについて
ありますが、^{ひらい}平井議員が教育委員会の推進している「沼田大好きふるさと学習」で沼田の歴史や地形などを学び、理解を深められ、「沼田がとてもすばらしい所である」と分かっていただいたことは、大変うれしく思います。

現在、沼田の歴史を系統的に学んだり、紹介するための歴史資料館はありませんが、平成27年10月に、商業ビルとして整備されたグリーンベル21を再生とその整備方針をまとめた「グリーンベル21活用基本構想」を策定しました。その中で、歴史資料館をグリーンベル21の中に位置づけ、その設置に向けて準備を進めているところがあります。

歴史資料館の設置により、^{ひらい}平井議員のご意見のように沼田の小学

生や中学生が「沼田大好きふるさと学習」でより多くの歴史資料を学べる機会を増やすとともに、貴重な文化財を展示し、沼田の歴史についての情報提供・情報発信を行い、多くの人に沼田を大好きになってほしいと考えております。

次に、できるなら沼田城を再建し、その中に沼田資料館をつくってほしいについてであります。沼田城の再建につきましては、現在、沼田^{じょうせき}城跡の発掘作業を進める中で「正保^{しょうほう}の城^{しろ}絵図^{えず}」に描かれた天守と石垣の位置の特定、その歴史的な史実の確認を進めることが大切であると考えておりますので、引き続き、発掘作業の成果を検証し、県を始め、関係機関と協議しながら、調査・研究してまいりたいと考えております。

沼田についての資料や情報を集めた「沼田資料館」につきましては、広範囲にわたる資料の収集や建設費用を含め、財政状況等を考慮しながら研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、平井^{ひらい}美名^{みな}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 保育園・幼稚園とお年寄り

ただいまの^{もろたともや} 諸田智也議員のご質問にお答え申し上げます。

保育園・幼稚園とお年寄りについて、であります。全国的に少子高齢化が進行している中、本市においても人口が減少する一方で高齢化が進行し、平成27年度では人口1,000人あたりの^{しゅつしょうすう}出生数が6.6人に減少、また、本年4月の高齢化率が30.4%と約3人に1人が65歳以上となり、^{しせつ}高齢者施設の需要の増加が見込まれております。

一つの施設に高齢者、障害者、子どもなど、^{たよう}多様な利用者が^{ささ}支え合いながら福祉サービスの提供を行うことは、子どもとふれあうことで高齢者が自分の役割を見つけ、意欲が高まることによる日常生活の改善や会話の促進などの効果が期待され、また、子どもが高齢者と接することで思いやりや優しさを身につける機会となるなどのメリットが^あ挙げられております。こうしたことを受けて、民間では取り組み始

めた状況であります。市としても、こうした取り組みについて、支援していききたいと考えております。

これから、高齢者・障害者・子どもなど全ての人々が、地域、暮らし、生きがい^{とも}を^{つく}共に創り、高め合う「地域共生社会」の実現が必要になると考えておりますので、議員皆様に住みよい町づくりの協力者になっていただきたく、お願い申し上げます。

以上申し上げまして、^{もろたともや}諸田智也議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の英語教育について

ただいまの阿部百々議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の英語教育について、であります。沼田市では、文部科学省から、英語教育強化地域拠点事業として、平成26年度から平成29年度までの4年間の研究指定を受け、沼田東小学校、沼田北小学校、沼田中学校が、新学習指導要領の改訂に向けて、英語教育の改善に取り組んでおります。

現在、政治や経済、文化などの様々な面で、国や地域の枠を越えてやり取りが行われるグローバル化が進展する中で、阿部議員のご指摘のとおり、日本人の英語力の向上は、とても重要となってきております。特に、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが行われる予定であり、多くの外国の人たちを迎え入れ、触れ合う機会も増えてくるものと思われまます。

そのため、阿部議員からご提案のあった、外国人観光客との交流や

国際交流事業を実施し、中学生がボランティアとして参加することは、生きた英語に触れる機会を作っていくという面で、とても効果的なことであると思います。

そこで、沼田市国際交流協会では、毎年、国際交流フェスティバルを開催しており、今年は、今年26日に開催しますので、関係部局や関係機関等と連携を^{はか}図り、中学生などが、これらの外国の人たちと交流できる行事に、より多く参加していけるように働きかけてまいりたいと考えております。

また、沼田市の子どもたちの英語力を向上させる具体的な方策についてであります。現在、英語教育強化地域拠点事業において、小学校の5・6年生で実施していた英語活動を3・4年生に学年を引き下げて実施したり、5・6年生では、英語を教科として実施したりしており、来年度から、これらの^{とりく}取組みを他の小学校においても、段階的に実施していけるように、準備を進めているところであります。

以上申し上げまして、阿部^{もも}百々議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 駒ヶ峯悠吏 議員（22番）

1 グリーンベル21についての質問と要望

ただいまの駒ヶ峯悠吏議員のご質問にお答え申し上げます。

グリーンベル21の今後の活用についてであります。グリーンベル21は、平成5年4月のオープン以来、多くの皆さんに利用されてきましたが、商業環境が大きく変化する中、相次ぐテナントの退店により、商業ビルとしての機能を失い、中心市街地の活性化を図るためには、ビルの再生が大きな課題となっています。

このような中、市では、平成26年にビル全体の所有権を取得し、複合施設としての活用に向けて検討を重ね、現在は分散し、老朽化している市役所等の移転・集約をはじめ、多様な世代や様々な活動を支援する市民活動施設として、具体的には、市民活動やボランティアなどを行う団体の拠点施設である「市民活動センター」を現在の保健福祉センターから移設拡充するとともに、障害者の働く場として「福祉ショップ」や「作業所」を移設拡充するほか、小さなお子さんや高齢

者の活動を支援する施設等の整備に向けて、今年度、ビルの設計業務を進めております。

^{にぎ}賑わいの創出と利便性向上のため、^{こまが}駒ヶ^{みね}峯議員がご提案されている商業施設等の設置や市民をはじめ、学生の皆さんが気軽に利用できる施設の整備も重要となりますので、商業テナントの誘致に加え、自由で、気軽に利用できる施設や多目的に利用できるイベントスペースの整備等についても調整しているところであります。

グリーンベル21は、オープンから20年以上が経過しており、今後は、屋上や外壁等の補修、設備等を更新するとともに、複合施設としての利用にあわせた改修を行い、皆さんに親しまれ、活用していただける施設となるよう事業を進めております。

以上申し上げます、^{こまが}駒ヶ^{みねゆうり}峯悠吏議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{かねこ}金子 ^{たいしん}大伸 議員（13番）

1 現在の沼田市の町づくり

ただいまの^{かねこ}金子^{たいしん}大伸議員のご質問にお答え申し上げます。

現在の沼田市の町づくりについてであります。今年にはNHKの大河ドラマ「真田丸」の放送によって、「真田丸展」への来場者をはじめ、本町通りには多くの観光客が訪れていただき、大変有り難いことであると思っております。

また、金子議員ご指摘のとおり、多くの観光客を迎え入れるには、おもてなしが重要であると考え、本町通りにおいては、本年3月の「真田丸展」オープンに併せ、中町にある六齋広場において、沼田市の名産品などを紹介するイベントのほか、各店舗においては、商店街の皆さんが中心となって、真田丸の絵である「丸絵」を展示して、観光客に楽しんでもらうような取り組みをしております。

今後も引き続きイベントなどの実施により、観光客に、楽しんでもらい、また来たいと思ってもらえるように、沼田市の魅力を発信して、

観光客の増加に努めてまいりたいと考えています。

また、中心市街地である本町通りにつきましては、かつてのにぎわいや活気を取り戻すため、土地の形を使いやすくする区画整理事業を実施しており、中心市街地にある空き地についても、商店や広場等への整備が予定されています。さらに、上之町では「農産物直売所」の設置や、文化財である「旧沼田貯蓄銀行」を移築するなど、特産物や歴史を活かした街づくりにも努めています。本町通りにある空き地利用についてご提案をいただきましたので、今後の区画整理事業を進めるうえで、貴重なご意見とさせていただきます。

以上申し上げまして、^{かねこ たいしん}金子大伸議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{つのだ}角田 ^{たかのり}貴紀 議員（7番）

1 中心市街地を明るくし、観光客に来てもらうために

ただいまの^{つのだ}角田^{たかのり}貴紀議員のご質問にお答え申し上げます。

中心市街地を明るくし、観光客に来てもらうために、についてであります。中心市街地である本町通りにつきましては、かつてのにぎわいや活気を取り戻すため、土地を使いやすい形にして並び替えをする土地区画整理事業を実施するとともに、上之町にある天狗プラザ周辺の歩道については、利根実業高校と連携しながら花壇の整備を行い、「森林文化都市」としてのイメージアップにも努めています。

角田議員のご提案は大変素晴らしいと思いますので、本町通りの花壇の整備が行われていない場所についてもイメージアップが図れるよう検討してまいりたいと考えております。

また、土地区画整理事業に併せて、文化財である「旧沼田貯蓄銀行」を移築するなど、歴史を^い活かした街づくりにも^{つと}努めており、グリーンベル21においては、平成27年10月にグリーンベル21の

再生とその整備方針をまとめた「グリーンベル21活用基本構想」に
歴史資料館を位置づけ、沼田市において保存してある貴重な歴史資料
を展示公開し、^{じだい}次代へ継承する施設として、平成31年7月開館に向
けて準備を進めているところであります。

今後、多くの観光客が本市へ来てもらえるよう文化財等の活用を研
究してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{つのだ たかのり}角田貴紀議員のご質問に対する答弁とさせ
ていただきます。

質問者 ^{ひきめ} 梶目 ^{かぐみ} 香果雅 議員（10番）

1 ゴミを減らすために私たちができること

ただいまの ^{ひきめ} 梶目 ^{かぐみ} 香果雅 議員のご質問にお答え申し上げます。

ごみを減らすために私たちができることについてであります。ごみを減らすために市が行っている対策としましては、みつつのR、つまり「リデュース、ごみを減らしたり出さないようにすること。リユース、ものを繰り返し使うこと。リサイクル、いらなくなったものを原材料にして、同じものや他のものを作ること。」のスリーアールの活動を進めていくことが、重要な取り組みであると考えております。

その中でも特に「リデュース」、つまり、ごみを出さない、ごみを減らすということを市民一人ひとりが考え、^{みな}皆さんが一丸となって取り組んでいただくために、市の広報紙やホームページで繰り返し広く呼びかけております。

また、自分の住む町を自分たちできれいにすることは、とても大切なことです。市では、多くの市民の皆さんのご協力をいただき、^{はる}春

と秋に市内の一斉清掃として道路や河川などの環境美化に取り組んでおります。

議員がおっしゃるように、ごみを見つけたら自分のごみでなくとも市民の皆さん一人ひとりが親切な心を持って落ちているごみを拾うようになり、自分の住む町をきれいにしようと考えていたければ沼田市も、もっともっときれいになっていくと思います。

沼田まつりは、毎日ボランティアの方にお祭りの会場となる道路などのごみ拾いをしていただいております。今後は、いろいろなお祭りやイベントの時にも、みなさんが「ごみを出さない、ごみを減らすこと」を広められるイベントを考えてまいりたいと思います。

以上申し上げます、議員 香果雅議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{やました}山下 ^{りょう}遼 議員 (1番)

1 商店街の活性化について

ただいまの^{やました}山下^{りょう}遼議員のご質問にお答え申し上げます。

商店街の活性化についてであります。市では商店街にかつてのよ
うなにぎわいや活気を取り戻すため、平成10年から中心市街地土地
区画整理事業に取り組んでおります。

この事業は、今住んでいる人や商売をしている人の土地を使いやす
い形にして並び替えながら、道路を広げたり広場などを整備するもの
です。この事業を実施することにより、中心市街地における商店等の
整備や誘致を進めながら、高齢化社会に対応した街づくりに取り組ん
でまいりたいと考えております。

次に、グリーンベル21の活用についてであります。商業ビルと
して整備されたグリーンベル21を再生するため、市では、平成26
年にビル全体の権利を取得し、市の庁舎を移転するとともに、お子さ
んから高齢者まで、多くの皆さんが利用できる施設や商業施設などを

整備する計画であります。

山下議員がご提案されているお店や娯楽施設などの整備は大変重要であると考えています。そこで、現在、食料品を扱うお店など、商業施設の誘致に努めているとともに、^{しみんかつどうしせつ}市民活動施設として「歴史資料館」をはじめ、子育てや親子での交流を支援する「子ども広場」、高齢者の交流拠点となる「交流サロン」や「福祉カフェ」などを整備するほか、ご質問いただきました気軽に利用できる施設として「イベントスペース」や「トレーニングスペース」などの設置についても調整しているところであります。

以上申し上げまして、^{やましたりょう}山下遼議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 入澤 ^{りんか}凜果 議員（6番）

1 沼田の自然環境を活かす

ただいまの^{いりさわりんか}入澤凜果議員のご質問にお答え申し上げます。

果物の新品種の開発についてですが、市内には120を超える数のりんご農園があり、市内にあります群馬県の施設「中山間地園芸研究センター」で新品種の開発を行っております。「ぐんま名月」をはじめ全部で7品種が開発されており、今年8月には「^{べにつる}紅鶴」が新たに品種登録されております。

また、SNSを活用した積極的な発信についてであります。本市の、りんごやその他の農産物、農業に関する取り組みなどを、ツイッター、フェイスブック等のSNSを活用して情報発信を行っております。さらに、フェイスブックでは、りんご狩りの新たなサービスである「沼田ピクニック」、「ぬまたブランド農産物」、「上州沼田真田^{ひょうろうがん}兵糧丸」のページを開設し、情報やメッセージを発信しております。

市では、新品種の栽培推進を図るとともに、SNS等を活用した積

極的な情報発信を行い、観光農園を訪れたお客さんが喜んでいただけるよう、県や各関係機関と連携し、生産者支援の推進を図ってまいりたいと考えております。

次に、玉原の湧水^{ゆうすい}をはじめとした豊かな水資源を活用した産業や仕事を考えているのかについてであります。沼田市は「沼田用水」や「城堀川」などが、古くから沼田の水道水や農業の他多くの産業に利用されており、現在でも多くの市民に利用されているところであります。

こうした水資源を活用した産業や仕事ですが、水そのものの産業はまだ計画がありませんが、今後、沼田市に工場や企業を作ってもらうために、地下水の調査などを行っております。

最後に、「川や水を利用した公園を整備する予定はあるのか」についてであります。現在、市内には、川や水を利用した公園は5カ所あり、川や水を利用した公園施設は、水をきれいに保つ^{たも}ための浄化施設や水質検査などが必要となり多額な費用が掛かるため、すぐに新たな公園を整備することは難しい状況にありますので、既に水を利用

した公園であります「城堀川緑地」や「さぎいし公園」の施設管理を
充実させていきたいと考えております。

以上申し上げまして、^{いりさわりんか}入澤凜果議員のご質問に対する答弁とさせて
いただきます。

質問者 ^{ますだ}増田 ^{りこ}莉子 議員（28番）

1 利根沼田の町おこし

ただいまの^{ますだ}増田^{りこ}莉子議員のご質問にお答え申し上げます。

利根沼田の町おこしについてであります。増田議員ご指摘のとおりグリーンベル21からベラヴィータまでの本町通りには、高校生が立ち寄るような飲食店などが無いのが現状であります。今後、グリーンベル21は、市庁舎機能を含めた複合ビルとして整備され、また、本町通りでは、土地区画整理事業を行いながら、高校生などの若い人や観光客に魅力のあるフードコートなどの設置について、地元関係者の皆さんと協議をしながら整備を進めております。

次に、利根実業高校をはじめとした高校生の活動が^{ひろう}披露できる場所を市街地に設置する関係についてであります。増田議員のおっしゃるとおり、利根実業高校の皆さんはもちろん、利根沼田の高校生が^{さまざま}様々な分野で市や地域の方々と連携して活動しており、その成果は非常に大きいものであると感じております。

それらの活動を県内外へ発信する事により沼田市を知っていただく事は非常に重要であると考えておりますので、以前、本町通りの空きスペースで利根実業高校の皆さんがアンテナショップを出店されていましたが、あのような取り組みが継続できるように沼田市としても研究をしてまいりたいと考えています。

以上申し上げます、増田^{ますだ}莉子^{りこ}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{いわせ}岩瀬 ^{せいや}星弥 議員（21番）

1 沼田の交通網、通路の改善

^{いわせせいや}ただいまの岩瀬星弥議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田の交通網、通路の改善、滝坂の階段、その先の坂道、一部区間の歩道、車道の整備をしてほしいについてであります。岩瀬議員もご承知のとおり沼田市の市街地は、利根川とその支流の片品川、薄根川により形成された日本有数の河岸段丘の上に広がっており、市街地に^{いた}至るにはほとんどの場合、坂を上^{のぼ}らなくてはなりません。特に沼田駅を利用し市街地の高校に通う学生さんは滝坂^{のぼ}を上らなくてはならず、毎日になると大変なことと思われま

市としましても沼田駅の正面にあり、また、沼田市の玄関口の一つでもある滝坂については、歩行者や通行車両の利便性を^{はか}図るため、階段部分には屋根を設置したり、車道や歩道の部分には冬期間、雪が^と溶けるよう地下水を汲み^く上げて^あ放水する消^{ほうすい}雪^{しょうせつ}施設や電気の熱による^{しせつ}融^{ゆう}雪^{せつ}装置^{そうち}を設置しております。

しかし、これらの施設も設置してから年数が経^たっているため、
老朽化^{ろうきゆうか}による不具合^{しよう}も生じております。これらの施設の機能^{そこ}を損な
わないよう計画的な補修等を行い、適切な維持管理^{つと}に努めてまいり
たいと考えております。

次に、バスや電車の本数を増やして欲しいについてであります、
相当数の需要^{そうびん}が無いと増便は厳しいとされますので、議員の皆様
におかれましても積極的な利用をお願いいたします。

また、歩道や車道を整備するには多くの工事費用が必要となっ
てきます。特に歩道の新設や道路を広げる整備となると工事費用はもちろ
ん道路沿線の関係者のご協力が必要となります。今後においても警察
など関係機関と現地調査^{はあく}を行い、危険箇所^{つと}の把握に努め、改善に向
けた協議を行ってまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、岩瀬星弥議員^{いわせせいや}のご質問に対する答弁とさせ
ていただきます。

質問者 かない 金井 しんいち 信一 議員（29番）

1 これからの沼田市について

ただいまのかないしんいち金井信一議員のご質問にお答え申し上げます。

まず、真田丸展終了後のグリーンベル21の活用についてであります。商業ビルとして整備されたグリーンベル21を市役所として活用するとともに、幅広い世代の皆さんが気軽に利用できる市民活動施設や商業・業務施設による複合ビルとして再生する計画であります。

今年度、ビルの実施設計業務を進めており、真田丸展終了後は、平成31年のリニューアルオープンを目指し、すみ速やかに改修工事を進めたいと考えております。

次に、本町通り活性化の打開策についてであります。本町通りにかつてのにぎわいや活気を取り戻すため、土地区画整理事業を実施しております。この事業に併せて、上之町に集客の拠点として、「農産物直売所」の設置や文化財である「旧沼田貯蓄銀行」を移築するなど、にぎわいの核施設の整備を進めており、グリーンベル21のリニュー

アルとともに、本町通りがにぎわいや活気を取り戻し、商店等の整備や誘致が進むことを期待しているところであります。

次に、沼田市の財政状況についてであります。景気回復の遅れや人口減少などにより市税収入が減少傾向にあるものの、補助金など有利な財源を最大限活用するとともに、事業の見直しや事務の効率化などなるべく経費を少なくする工夫をして、できるだけ借金をしたり、貯金の取り崩しをしたりしなくても、赤字にならないように努めており、現在では健全な財政状況にあります。

将来を担う皆さんが戻ってきて良かったと実感していただけるような沼田市であるために、市民福祉の向上のため真に必要な施策を実行していき、将来にわたって持続可能な財政運営を行ってまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{かないしんいち}金井信一議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{とやま}外山 ^{ひでと}秀翔 議員（16番）

1 自転車、歩行者、自動車の安全な共存について

ただいまの^{とやまひでと}外山秀翔議員のご質問にお答え申し上げます。

自転車、歩行者、自動車の安全な共存についてであります。交通安全対策は安心して暮らせる地域づくりの重要課題の一つと考えます。

市では交通事故の^{こんぜつ}根絶を目指し、警察や交通安全協会、また交通指

導員や市民の皆さんと連携し、^{きせつごと}季節毎に^{じつし}実施する交通安全運動の

^{けいはつ}啓発や、児童生徒の通学時間帯での^{がいてうしどう}街頭指導、小中学校の交通安全

教室では正しい自転車の乗り方を指導するなど、様々な活動を行って

おります。こういった取り組みにより、市内における交通事故は年々

減少傾向ではあります。それでも昨年度は、259件の交通事故が

発生しております。そして、259件の交通事故のうち、自動車と自

転車の事故が17件あり、自転車に乗っていた1名が^な亡くなられてお

ります。また、人と自転車の事故は1件あり、その事故の加害者は、

自転車を運転していた高校生でした。自転車は、事故に^あ遭うと^{おおけが}大怪我

をする危険性が高く、加害者になる場合もございますので、皆様におかれましても、是非交通ルールを守ってお乗りいただきたいと思えます。

自転車、歩行者、自動車の安全な共存については、^{せま}狭い道路の多い本市においては、自転車と歩行者兼用の専用道路の設置を、早期に実施することは難しいため、現在は通学路等学校周辺の道路の白線やグリーンベルトの設置などを計画的に進めることにより、可能な限り通行区分の明確化を進めているところであります。

平成28年度の交通安全スローガンは、「安全は 小さな注意の^つ積み^{かさ}重ね」です。一人一人がちょっとした注意と、^{ゆず}譲り^あ合いの気持ちをもっていただくことで交通事故は防げます。皆さんも学校に戻られましたら友達にお話しいただき、交通安全への意識の^{こうよう}高揚を図っていただきたいと思えます。

以上申し上げます、^{とやまひでと}外山秀翔議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{おおた}太田 ^{まさと}雅人 議員（27番）

1 住みやすい町づくりについて

ただいまの^{おおた}太田^{まさと}雅人議員のご質問にお答え申し上げます。

住みやすい町づくりについてであります。太田議員ご指摘のとおり、裏道のような細い路地も含め、沼田市には歩道の整備がされてない道路が^{かずおお}数多くあります。

先の^{いわせ}岩瀬議員の質問に答弁したとおり歩道の整備には多くの費用と沿線の関係者のご協力が必要であることから、早急な歩道の整備はできませんが、太田議員ご提案のポールを設置し、危険を少なくするということは非常に良いことだと思います。^{すで}既に交差点の曲がり角などで行っておりますが、今後も引き続き必要な^{かしよ}箇所には設置していきたいと考えております。

また、歩道の水たまりができやすい箇所については可能な限り修繕を行い水たまりを解消していき、児童生徒の皆さんが安心して歩けるようにしたいと考えております。

次に、児童生徒の通学区域での自転車と歩行者の兼用道路の設置でありますが、昨年の道路交通法の改正により、自転車は車道を通行することが原則となりましたが、狭い道路の多い沼田市においては、自転車と歩行者兼用の専用道路の設置については、早期に整備することは難しいと考えます。

従って、通学路等学校周辺の道路の白線やグリーンベルトの設置などを計画的に進めることにより可能な限り通行区分を明確にし、歩行者や自転車の安全対策に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます、^{おおたまさと}太田雅人議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{こいけ}小池 ^{まりな}真莉奈 議員（2番）

1 情報教育の整備について

ただいまの^{こいけまりな}小池真莉奈議員のご質問にお答え申し上げます。

情報教育の整備についてであります。パソコンを使用した小学校の学習は、基本的な操作や情報モラルを身につけるとともに、^{しら}調べ学習や、文書の作成などを総合的な学習時間の中で行っています。

^{こいけ}小池議員が要望するタブレットを一人一人に整備することについては、パソコンにいち早くなれるとともに、情報化社会に^{ちから}適応した力がつき、大変大切なことであり、必要なことと考えております。

このような中、^{ひがし}沼田東小学校については、来年の秋に40台のタブレットを整備し、他の学校についても順次整備したいと考えております。

また、ご指摘いただいたインターネットの動作環境の不具合も一部で見られるとのことですが、日頃から良好な状態で学習環境が^{たも}保てるよう対応したいと考えております。

以上申し上げまして、小池^{こいけ}真^ま莉^り奈^な議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。

質問者 井上 ^{あいり}愛理 議員（5番）

1 予防接種について

ただいまの井上^{いのうえ}愛理議員のご質問にお答え申し上げます。

予防接種についてであります。予防接種は感染症のまん^{えん}延防止を^{はか}図るため、予防接種法に^{もと}基づいて実施する定期予防接種と個人の判断で実施する任意予防接種があります。

ご質問の中学3年生のインフルエンザ予防接種については、任意予防接種となっております。井上^{いのうえ}議員のおっしゃるとおり毎年冬になるとインフルエンザが流行し、感染力が強いため患者は大変つらい思いをしております。受験を^{ひか}控えた中学3年生やご家族にとってはなおのこと心配なことだと思えます。

中学3年生のインフルエンザ予防接種費用の全額補助については、かかる費用も大変高額となることから、今後関係機関と検討してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、井上^{いのうえ}愛理議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。

質問者 藤澤 ^{あやみ}彩美 議員 (23番)

1 高校生を対象とした就学支援対策について

ただいまの藤澤^{あやみ}彩美議員のご質問にお答え申し上げます。

高校生を対象とした就学支援対策について、であります。本市におきましては、有用な人材を育成するため、経済的理由により、進学及び就学困難な高校生に対し、無利子で月額20,000円を貸し付ける「奨学資金貸付事業」を行い、高等学校における教育に係る経済的負担を軽減していけるように努めております。

また、奨学金につきましては、卒業後、1年を経過した翌月から、貸付期間の2倍に相当する期間内に返済していただいているところであり、返済の負担をできるだけ少なくするようにしておりますが、返済の軽減や免除の制度はございません。

藤澤議員のご指摘のとおり、奨学金を増額することで、ひとり親世帯や保護者が就労困難な家庭にとって、より手厚い支援になると思われれます。また、沼田市に就職した場合、返済を軽減したり、免除した

りするというご提案は、若者の沼田市への就職を促進し、沼田市の活性化や、人口増に寄与^{きよ}することが期待される、大変すばらしいものであると思います。

しかしながら、現在、国でも、高校教育の実質的な機会均等に寄与することを目的として、所得制限を付けて高校授業料無償制度を実施しているところであり、「奨学資金貸付事業」の見直しに当たっては、財政面や他の子育て支援策、就労支援策との関係など、課題もあると思われまますので、今後、関係部局等と連携を図りながら、研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、藤澤彩美^{あやみ}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 津久井 萌^{もえ} 議員（25番）

1 「沼田城の再建」について

ただいまの津久井萌^{もえ}議員のご質問にお答え申し上げます。

『沼田城の再建について』であります。天守の復原^{ふくげん}をはじめとする沼田公園の整備については、『沼田公園長期整備構想』を推進する中で継続的に検討しており、現在は本構想の核となる沼田城跡^{せき}の全容^{ぜんよう}を明らかにするための発掘調査を進めているところであります。

また今年、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送効果により、本市の中心市街地を散策する観光客を多く見かけるようになりました。

来年以降も沼田市が真田の里であることのPRを続けていく事で、より多く皆さんに「沼田が真田の里」である事のイメージを定着させ、真田の話題が登場する度に「沼田」を連想していただける^{よう}様努力してまいりたいと考えております。

以上申し上げます。津久井萌^{もえ}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の救命救急体制の整備について

ただいまの^{くわばら}栗原^{みな}美奈議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の救命救急体制の整備についてであります。救急医療体制は、群馬県保健医療計画により、軽度の救急患者の診療が可能な初期救急医療、時間外の救急診療が可能で入院^{ちりょう}治療などが出来る第二次救急医療、及び重度な救急患者を24時間受入可能で、高度な治療ができる第三次救急医療が設定されております。

沼田市におきましては、医師会や関係機関との協力のもと、利根沼田広域市町村圏振興整備組合が中心となり、在宅当番医制や休日^{きゅうかん}急患診療所などによる初期救急医療、さらには利根沼田圏域内7病院による第二次救急医療に取り組んでおります。

また、群馬県では、救命救急センターを設置する前橋赤十字病院、高崎総合医療センター、太田記念病院、及びこれらの病院と同等の機能を有する群馬大学医学部付属病院を救命救急医療の第三次救急医療

機関として位置づけておりますが、利根沼田圏域内には救命救急センターの設置はありません。緊急事態が発生した場合には、ドクターヘリの活用等により第三次救急医療機関である救命救急センターへ搬送しております。

今後、地域住民が安心して生活できるよう、初期救急医療と第二次救急医療の充実及び第三次救急医療機関との連携強化に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます、^{くわばら みな} 栗原美奈議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 観光について

ただいまの^{ほしの}星野^{いくほ}生帆議員のご質問にお答え申し上げます。

星野議員ご指摘のとおり、今年は、NHK大河ドラマ「真田丸」で、「もうひとつの真田の舞台」として大きく取り上げていただいたことにより、多くの方に「沼田」を知っていただくことができました。

また、多くの方に沼田城址公園をはじめとする真田ゆかりの地を訪れていただき、グリーンベル21で開催している「上州沼田真田丸展」も、現在、来場者12万人を突破いたしました。

「真田丸」効果により、沼田が「真田の里」であるという認知度も高くなりましたが、これを一過性のものにすることなく、今後も、引き続き「真田の里、沼田」のPRを続ける必要があると考えております。さらに、本市には、吹割の滝、玉原高原をはじめ、老神温泉や迦葉山、四季を通じて^{たんのう}堪能できるフルーツなど、豊富な観光資源がございますので、それらと効果的に組み合わせて観光誘客の増加を図り、

地域の活性化に繋^{つな}げてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、星^{ほし}野^の生^{いく}帆^ほ議員のご質問に対する答弁とさせて

いただきます。

質問者 井熊 夢翔 議員（12番）

1 沼田市の観光について

ただいまの井熊^{いぐま}夢翔^{ゆうと}議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の観光について、路線バスの路線数を増やすこと、バスの運行本数を増やすことについてであります。現在、市内を運行している路線バスは、バス事業者が独自に運行している2路線と、利用者数が少ないことから収益の見込^{みこ}めない路線として市が独自に委託している10路線があります。この10路線につきましては、利用者からのアンケート調査により、その多くが高齢者であり、通院目的であったことから主要医療機関を廻^{まわ}す運行経路になっております。従って観光地をバスでつなぐことは、難しい状況になっております。

井熊議員ご指摘のとおりNHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、現在、沼田市には多くの観光客にお越^こしいただいており、グリーンベル21で開催している真田丸展にも沢^{たく}山^{さん}の皆様にご来場いただいておりますが、その他の観光場所へ素早く移動出来る路線体系でないの

は事実でございます。現在、既存の路線バスは休み無く運行している状況であり、路線数や運行本数を増やすとすれば新たに車両を導入する必要がございます。車両の導入につきましては、多額の費用がかかりますので慎重な判断が必要であります。しかし、これからの路線バスは生活路線としての役割のみならず、観光客の利用にも着眼することは大変有効なことと考えますので、観光客に対する利用促進など出来るところから検討してまいりたいと思います。

以上申し上げまして、井熊^{いぐまゆうと}夢翔議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{なかくき}中 荃 ^{しほ}史 歩 議員（26番）

1 沼田市の国際活動について

ただいまの^{なかくき}中 荃^{しほ}史 歩議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の国際活動につきましては、沼田市国際交流協会の協力により、本市在住の外国人を対象に地域住民とスムーズに交流できるよう日常生活で必要となる日本語を学ぶ機会として、日本語教室を開催しております。また、3歳から7歳の子どもを対象に子どもの頃から外国語に慣れ親しむことができるようにキッズイングリッシュを開催しております。さらに世界各国出身の外国人による母国料理や民族衣装、踊りなどの紹介を通じた外国人との交流の場として、国際交流フェスティバルを開催しております。

このように市民と外国人との交流の場を提供し、外国語に接することができるよう^{つと}努めております。

^{なかくき}中 荃議員のご意見のとおり、今後、東京オリンピックの開催に^{ともな}伴

う観光客の増加や小学校での外国語が^{ひつしゅうか}必修化となることなどを考慮

し、子どもから大人までが気軽に参加できる外国人との交流の場の創出と多文化共生への理解が深められるように、多数のイベントの開催を検討するとともに、多くの方々に参加していただけるよう周知方法等についても検討してまいりたいと考えております。

以上申し上げます、^{なかきしほ}中茎史歩議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者、おの まりあ 議員（9番）

1 沼田の環境の将来に関すること

ただいまのおの まりあ 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田の環境の将来に関することについてであります。小野議員のお住まいの地域では、道路や公園などの清掃を行ったり、白沢小学校では、登校班ごとに通学路清掃をしていただいたり、白沢町をきれいにする活動をしていただき、誠にありがとうございます。また、自分自身ではごみを捨てないようにしたり、友達にも注意したりと、小野議員の心がけに感謝申し上げます。

さて、ごみの不法投棄についてですが、不法投棄は、非常に悪質な行為であり犯罪ですので、捨てた人を探すために警察などにも連絡しますが、捨てた人が見つからない場合は、捨てられていた土地の管理者又は所有者が片付けることとなっております。

しかし、不法投棄のごみは片付けられないことが多く、そのごみの周辺にさらにごみを捨てていくという悪循環が生まれることが多く、

早期の対応が必要となりますので、不法投棄は、地域住民皆さんの協力を得ながら、市としても厳しく対応していきたいと考えております。

また、市では、ごみを捨てない社会を創っていくことが大切であると考えており、市民と連携して不法投棄の防止や早期発見に努めているところであります。

また、年2回春と秋に市内全域におきまして市民の皆さんによる市内一斉清掃を行っており、その他にも、町内会や育成会などの自主的なボランティア活動として、ごみ拾いを実施していただいておりますことは、市としても大変ありがたい活動であると考えております。

以上申し上げます。おのまりあ議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{かない}金井 ^{るり}瑠莉 議員（４番）

1 商業の活性化について

ただいまの^{かない}金井^{るり}瑠莉議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市では、皆さまから頂いた税金で様々な事業を実施しております。その一つとして、商業の振興があります。金井議員からご指摘いただき商業の活性化について、沼田市の商業が盛んになるには、新しい商業施設があれば良いと思うがそういった計画があるかについてでございますが、全国的に沼田市のような地方の都市では、人口の減少と高齢化が大きな課題になっております。沼田市の商業についても、経営者の高齢化などから、商店街での空き店舗が増え、元気のない状態が続いております。沼田市ではこうした商店街の元気を取り戻し、活気のある街にするために、商工会議所や商工会と力を^{あわ}併せて、商店街イベント開催など、商業の振興、活性化に取り組んでいるところであります。

最近では、相次ぐ郊外への大型店の進出で、なかなか街なかには新

しい商業施設が出にくい状況になっておりますが、市では現在計画しているグリーンベル21への庁舎移転に^{ともな}って、1階・2階部分に商業施設を計画し、入居するお店を募集しているところであります。

これからも商業を盛んにし、活気ある街を取り戻す為に市民の皆さんからの税金を有効に使って、関係する皆さんと一緒に事業を実施してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{かないるり}金井瑠莉議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 田村 天佑 議員（15番）

1 沼田市の今後について

ただいまの^{たむら てんゆう}田村天佑議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の今後について、土砂崩れなどに対する防災訓練や避難訓練について、であります。本市では「地域防災訓練」を、毎年小学校区の持ち回りで行っており、本年は11月20日に「薄根地区」で実施いたします。

また、沼田市の各行政区単位に設置されている「自主防災組織」により、地域の実情にあった訓練を実施することが、地域の方々を守る最良の方法でありますので、市といたしましては、今まで以上に「自主防災組織」の育成強化に努めてまいりたいと考えております。

次に、避難場所が遠い地域への対応や、災害により避難路が^た断たれた場合の対応について、であります。個人で避難することは二次災害の可能性が高くなるため、できる限り地域の皆さんと一緒に安全な場所へ避難することをお願いしたいと考えております。

地域が孤立した場合は、その地域の方々が互いに助け合う必要が生じます。そのためには、日頃から、「緊急避難場所」の確認や、「自主防災組織」が実施する訓練に、地域の皆さんが参加していただきたいと考えております。

次に、地域間の賑^{にぎ}わいの格差と経済格差についてであります。市内各地域にはそれぞれの特性があり、その特性を生かした環境整備や支援を行うことにより、各地域の活力を取り戻していただき、全市民的な活力の向上を^{はか}図^{はか}ってまいりたいと考えております。

また、予算の割り振りは均等であるかについてであります。各種市民サービスなどのソフト事業については、市民であればどなたでもサービスを受けることができますし、建設事業などのハード事業については緊急性や必要性に応じた予算づけをしているところであります。また、事業の妥当性や緊急性、効率性、公平性などについて検証し、必要な見直しを行いながら各種事業の予算づけを行っているところであります。

最後に、これからの沼田市を発展させていくための方針についてで

ありますが、本市では人口減少・少子高齢化がもたらす課題の解決を
はか
図るため、「沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27
年度に策定しておりますので、この総合戦略に^{かか}掲げた取り組みを着
実に推進することで本市の発展に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{たむらてんゆう}田村天佑議員のご質問に対する答弁とさせ
ていただきます。

質問者 栗原 ^{な お}奈緒 議員（11番）

1 介護施設・老人ホームの災害時の対応について

ただいまの栗原^{な お}奈緒議員のご質問にお答え申し上げます。

介護施設・老人ホームの災害時の対応について、であります、
栗原^{くわばら}議員からお話のありました、岩手県岩^{いわいずみちよう}泉町の甚大な被害が発生したことを受けまして、改めて社会福祉法人等に対して、国が示した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」の周知を図っているところであります。

本市の現況を見ますと、危険な場所に設置された介護施設等はほぼ見受けられないと思われませんが、昨今の異常気象による想定外の災害に備えることも必要であると認識しております。

大切な命を守るため、災害発生の危険性が高まった場合には、引き続き関係各課が連携し、介護施設等において適切な対応がとられるよう、積極的な情報提供・助言を行ってまいりたいと考えております。

次に、沼田市の土砂災害や浸水などに対する具体的な対策などにつ

いて、であります。土砂災害を防ぐための砂防ダムや浸水を防ぐための堤防などの整備を、国や県の協力により行っております。

また、気象情報により災害が起きそうな場合には、早めに避難情報を発信することとしており、市民を守っていけるように体制整備を図っているところであります。

以上申し上げます。乗原^{な お}菜緒議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 生方 秀磨^{しゅうま} 議員（14番）

1 放課後の活動について

ただいまの生方秀磨^{しゅうま}議員のご質問にお答え申し上げます。

放課後の活動について、であります。生方議員のご指摘のとおり、放課後の時間を充実させていくことは、学校生活をより有意義なものにしていく上で、大変重要なことであると認識しております。

まず、部活動につきましては、本市では、スポーツや文化に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の育成を図るとともに、道徳教育の実践の場であるにとらえており、勝利至上主義に^{おちい}陥ることなく、生徒のみなさんの心と体を鍛えていけるよう、教育部活動を推進しているところであります。

また、「沼田市スポーツエキスパート活用事業」により、学校の実情に応じて、外部指導者を派遣し、各運動の専門家の力をお借りして、専門的スキルも高められるよう支援しております。

部活動の選択の幅を増やせるような環境整備につきましては、生方

議員のご指摘のとおり、今後、ますます少子化が進行することが予想され、各中学校ごとに、種目数や指導者の確保などの課題も大きいことから、今後の部活動の在り方について、外部指導者の活用や施設整備などの様々な観点から、研究してまいりたいと考えております。

次に、放課後の学習につきましては、多くの中学校では、部活動のない日を活用したり、部活動が終了した3年生を対象としたりして、放課後学習を実施しており、一人一人の生徒が、自主学習の方法を身に付け、基礎・基本を学べるように努めております。

また、地域のボランティアの方々に、計画的に来校していただき、数学や英語を中心として、ご指導いただいている中学校もあるなど、それぞれの中学校において、取り組みを工夫しているところであります。

そのため、放課後の学習支援につきましては、余裕教室を活用して場所を確保したり、ボランティアを活用して成果を上げている中学校の実践を参考にしたりして、各中学校が、自校の実情に応じて、放課後の学習環境を充実していけるように、引き続き、指導してまいりたい

いと考えております。

以上申し上げまして、生方^{しゅうま}秀磨議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。

質問者 ^{みやじま けいた} 宮嶋 啓太 議員 (30番)

1 沼田の活性化に向けてについて

ただいまの^{みやじま けいた}宮嶋啓太議員のご質問にお答えいたします。

現在、沼田市は観光^{しさく}施策の柱として「食」「自然」「歴史」を^{かか}掲げております。

本年の「真田丸」や「ブラタモリ」で取り上げられたことによって、市内外の方々の沼田市の「歴史」に対する関心度は飛躍的に向上しましたので、今後は玉原高原や吹割の滝に代表される「自然」、りんご、ぶどうなどの果樹に代表される様々な「食」について磨きをかけ、それら3本の柱をさらに太く頑丈なものにしていくことで、より一層観光振興を進めてまいりたいと考えております。

また、行政から地域の学生の皆さんに望む事は、市内で行われる各種イベントなどに参加していただく事に加え、それらを通して沼田市についての様々な事柄を学び、理解していただき沼田市を誇りに思っ
ていただく事で、今後、皆さんから沼田市の活性化を進めるためのす

ばらしいアイデアや活動が生まれてくるのではないかと考えております。

以上申し上げまして、^{みやしま けいた}宮嶋啓太議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{たかなし}高梨 ^{ゆい}優衣 議員（19番）

1 廃校舎の利用に関する質問

ただいまの^{たかなし}高梨^{ゆい}優衣議員のご質問にお答え申し上げます。

廃校舎の利用に関する質問についてであります。本年3月、少子化による児童数の減少により、^{ひらがわ}平川小学校、^{あずま}利根東小学校及び利根西小学校の3校が統合し、^{あずま}利根東小学校跡に利根小学校を新設することから^{ひらがわ}平川小学校の歴史に幕を下ろしました。

^{ひらがわ}平川小学校の歴史は、明治時代の^{ひらがわ}平川尋常小学校までさかのぼりますが、現在の校舎は、平成2年に建設された校舎です。

明治の時代から平成の^{こんにち}今日まで続いた^{ひらがわ}平川小学校は、小学生の学習の場としての役割のほか、地域の文化、スポーツ活動やコミュニティの拠点として地域の人に大切にされ、また、防災の拠点施設として、大きな役割を果たしてきました。

今後の活用についてであります。高梨議員が提案する沼田市の豊かな自然と地域の観光資源を活かした宿泊体験施設は、素晴らしい

提案でありますので、引き続き地域の方や市民のご意見を伺^{うかが}い有効

活用が図られるよう検討してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、高梨^{たかなし}優衣^{ゆい}議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。